

## 県立高校の全国募集導入についてQ&A 今治北高校大三島分校

### Q 1 全国募集を導入する目的は何か。

A 大三島島内の子どもの数は減少しているが、分校の閉校は地域の急速な衰退につながる。現在も島外（今治市内）の生徒に対し生徒募集を積極的に行っているが、その効果は限定的であり、中長期的なビジョンで生徒数を安定して確保するためには、島外からの生徒募集が必要不可欠であると考え。分校の存続が第1の目的ではあるが、他県からの移住者や生徒の増加により、大三島自体の魅力化・活性化にもつなげたいと考えている。

### Q 2 今治北高校大三島分校では、全国募集により、具体的にどのようなことが期待できるか。

A 生徒数の増加に伴う、部活動、学校行事等の諸活動の活性化が見込まれる。また、全国から優秀な人材が本校に魅力を感じて入学してくることで、小学校から固定化された人間関係に変化が生まれ、生徒が望ましい人間関係を構築していくことが可能になると考えられる。

### Q 3 全国にアピールする教育活動はどのようなことか。

- A
- 1 島ならではの教育活動
    - ・マリンスポーツ（カヌー、ボート、バナナボート体験等）
    - ・地元の魚の捌き方から調理方法までを学べる調理講習会
    - ・島を3年間かけて1周する島内歩行大会
    - ・瀬戸内島しょ部高校との交流活動
  - 2 少人数の強みを生かした学習指導・進路保障
    - ・進路希望に応じた類型選択が可能
    - ・徹底した個別指導により毎年国公立大学へ複数名が合格  
(平成30年度入試4名)
    - ・進学から就職まで手厚くサポート
  - 3 伊東建築塾と協働した地域活性化活動
    - ・「大三島魅力化プロジェクト」の実施を通じた実践力・リーダー性等の育成(古民家再生、大三島紹介パンフレットの作成、参道ガイドの実施、島内外での大三島PR活動)

**Q 4** 全国から志願する生徒に対して、学校は、また、今治市は、どのようなことを支援する準備があるか。

**A** 今治市や地域の方々と協力して、下宿（食事付き）の斡旋を行う事を予定している。

平成26年度入学生から、今治市の全面協力により希望生徒全員に対し給食を提供しているが、今後も継続していく予定である。

**Q 5** 学校の特徴として挙げている「大三島魅力化プロジェクト」について詳しく説明してほしい。

**A** 本校では、数年前から、世界的に有名な建築家の伊東豊雄さんが塾長を務める伊東建築塾と協働しながら、過疎化・少子高齢化が深刻化する大三島の地域課題を解決しようと様々な地域活性化活動に取り組んでいる。具体的な活動内容としては、地域の住民や観光客が気軽に立ち寄れるコミュニティ（みんなの家）の整備や、大山祇神社参道のボランティアガイドの実施、大三島を高校生目線で紹介するパンフレットの作成等を行ってきた。次年度は、瀬戸内島しょ部の高校生の手による地域おこしイベントの創出や、大三島の魅力を島内外に向けPRする活動などを予定している。

**Q 6** 高校生が上記のような地域活性化活動に積極的に取り組むことでどのような効果が期待できるか。

**A** 大三島の地域課題を自分たちで発見し、地域の方々と協働しながら、その解決に向けて主体的に行動することを通して、将来自分の地元（大三島に限らず）の地域活性化の牽引役として活躍できるようリーダー性にあふれた人材を育てたいと考えている。